

解答は全て解答用紙に書きましょう。

問題1

新聞係のともこさんは、学級のみんなに知つてほしいことを記事にして学級新聞を作成しています。ともこさんは、総合的な学習の時間に環境問題について調べる中で、プラスチックごみの問題に関心をもち、プラスチックごみについて記事にすることにしました。次の【ともさんが調べた記事の一部】、【担任の先生のお話】、【ALTのお話】、ともさんが書いた【学級新聞の一部】を読んで、あとの問い合わせ（1）～（5）に答えましょう。

※ALT…外国語の授業を補助する先生

【ともさんが調べた記事の一部】

ミズウオで知るプラスチックごみ汚染

海をよぎる「プラスチックごみ」の問題にいま、注目が集まっています。静岡県では、深海魚の胃の中にプラスチックごみが入っている割合が、昔に比べて増えていることが調査でわかりました。（中略）

静岡市の海岸には、ミズウオという名前の深海魚が、生きたまま打ち上ります。（中略）岸に上がったミズウオを解剖すると、おなかの中からプラスチックごみが出てくることがあります。

ミズウオは、貪欲な魚です。目の前に現れたものは、なんでもえさだと思って丸のみにする習性があります。本来のえさは魚やイカなどですが、海の中をただようプラスチックごみも、食べてしまいます。中には、スーパーのレジ袋がつまつて、おなかがパンパンにふくれたものもいます。

ミズウオの胃は細長い袋のような形をしています。プラスチックごみは食べても消化されず、胃のおくにたまりやすいのです。ごみが長い期間たまつたままだと、胃のおくに潰瘍ができるかもしれません。

東海大学海洋学部博物館の学芸員、伊藤芳英さん（55歳）によると、ミズウオを解剖し、おなかからプラスチックごみなどの人工物が出てくる割合は、1964～83年には平均で62%でした。

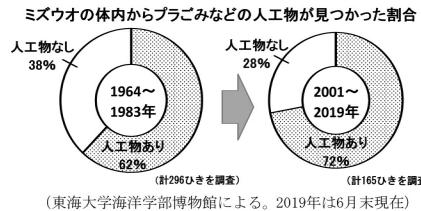
A、2001～19年（6月末現在）のデータを集計したところ、72%に増えていることが確認されました。

深海からの使者であるミズウオは、海岸だけでなく、海の中にもたくさんのプラスチックごみがあることを、私たちに伝えてくれます。

※ミズウオ…体長約1.3mの深海魚

※貪欲…非常に欲が深いこと

※潰瘍…皮ふやねんまくがただれてくずれる病気



（朝日小学生新聞）の記事から

（1）【ともさんが調べた記事の一部】の A に当てはまる言葉を、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。
ア このように イ しかし ウ やはり エ なぜなら

（2）ともさんは、【担任の先生のお話】の「いぎ」という言葉の意味が分からなかったので、国語辞典で調べてみたところ、次のような意味が書かれています。【担任の先生のお話】の「いぎ」の意味として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

ア きびしく堂々としたふるまい
ウ ある意見に対する反対の意見

イ ことなった意味
エ その事がうちにふさわしい価値

（3）ともさんは、【学級新聞の一部】の最初の記事に「 B 海中のプラスチックごみ」という見出しをつけました。ともさんが書いた記事の内容に合うように、 B に入る適切な言葉を、【ともさんが調べた記事の一部】から10文字でぬき出して書きましょう。

（4）ともさんは、記事を書く中で、山口県の海岸のごみの割合を調べ、調べた内容を右の記事にまとめ、【学級新聞の一部】の ① の部分に書き加えることにしました。

右の円グラフから読み取ることをもとに、 D に入る適切な内容を考えて書きましょう。

（5）ともさんは、【学級新聞の一部】に、「私たちにもできることがある」という見出しに合う記事を書くことにしました。 C に入る適切な内容を、【担任の先生のお話】と【ALTのお話】の中の言葉を使って、40字以上60字以内で書きましょう。

山口県の海岸のプラスチックごみ

静岡県では、調査の結果によって、海岸だけではなく、海の中にもたくさんのプラスチックごみがあることが分かりました。山口県のプラスチックごみはどうなのでしょう。山口県の海岸のごみの種類別割合を調べてみると、 D 。

山口県の海岸のごみの種類別割合
(平成22年～平成26年に調べたごみの合計47248個の内訳)